

## にほどりの かづく池水

昨年の春、紅白の梅の花にあたたかく迎えていただき、当園に赴任した私です。

…で、1年が過ぎていき、この春、園長が、目を輝かせながら、“カイツブリが睦が池にいたよ。写真撮ってみた。ネット検索したら、カイツブリの写真とそっくり。小さいんだよ。結構長い時間水中に潜水しているから、なかなか見つからないし、写真に撮れたのはラッキーだった。…かわいいよねえ。”…と、どや顔というより、純朴な小学生がカブトムシでもゲットしたかのように、お目々をキラキラされておられる（園長、すみません！）のを傍から見ていて、軽い気持ちで“園長が発見なされたこと



ですし、睦が池に来てくれているということでしたら、どうでしょう、「園の鳥」「園鳥」ってことにしてみても…」と、テキトーなことを私が言ったところ、“なになに、ウィキペディアによると、滋賀県の県鳥で、埼玉県三郷市の鳥で、市のマスコットキャラクターの「かいちゃん」と「つぶちゃん」はカイツブリをモチーフとしているのかあ、うちで「かいちゃん」と呼ぶのは事務長に失礼だろうから「つぶちゃん」が、いいかな。”…と、満面の笑みを見てしまったからには、口は災いの元…ではなく、有言実行！しなければ！

カイツブリについて調べたところ、アメリカ先住民の神話に登場することを知りました。

抜粋しますと、世界の始まりのとき一面は水に覆われていて陸地を作る材料を探してビーバーや

次ページへ続く▶

|    |                     |                |
|----|---------------------|----------------|
| 目次 | にほどりの かづく池水         | 事務長 甲斐龍也       |
|    | アロハ東北新生園            | 薬剤科長 熊谷学       |
|    | オーダーリングシステム更新について   | 薬剤師 森田睦子       |
|    | 県知事表彰を受賞して          | 看護師 菅原雅子       |
|    | 「看護の日」知事表彰されました     | 東北新生園看護課       |
|    | コ・メディカル学術集会に参加して    | 看護師 菅原薫        |
|    | 国立病院総合医学会に参加して      | 看護師 星よしえ       |
|    | 入所者全員が参加できる行事への取り組み | 介護長 川田良子       |
|    | 睦が池とカイツブリ           | 医療社会事業専門員 瀬川将弘 |
|    | グラウンド附帯設備を整備しました    | 東北新生園庶務課       |

### 理念

入所者の人権を尊重し、  
安心で安全な生活を提供します

### 基本方針

1. 快適な療養・生活環境を提供します
2. 安心で信頼される医療の充実に努めます
3. やさしい看護と介護を提供します
4. ハンセン病の正しい知識の啓発普及に努めます
5. 職員の教育・研修に努めます

### 入所者の権利

当園では、園の理念に基づき、入所者のみなさまの

- 人格を尊重される権利
- 良質な医療を受ける権利
- 十分な説明と情報を受ける権利
- 自己決定の権利
- プライバシーが保護される権利

を尊重します。



カモメが水中深く潜ったが失敗し、カイツブリが挑戦し、底の泥を持ってきた。この泥を元にして陸地が作られた…という内容です。

古事記にも、万葉集にもカイツブリは登場しますから、古くから親しみのある鳥なのですね。

古語辞典によれば、「鴛鳥」（にほどり）と呼ばれていて、よく水にもぐることから、「潜（かづ）く」にかかる枕詞として「鴛鳥の」が用いられていたとのこと。突然ですが、中国人の好きな日本人女優1位は新垣結衣さんだそうです。清潔感のある美人さんですし、TVCMで見かけると、ガッキー爽やかだね、と思わず私も見入ってしまいます。

よそで使われている愛称とかぶるわけにはいきませんから、「つぶちゃん」は断念することとして、「かづく」に因んでということで、《カヅッキー》を愛称にしましょうか！？…と、脱線し過ぎました。すみません。

登米市の鳥は「はくちょう」、宮城県の鳥は「ガン」で、いずれも伊豆沼に飛来することが理



登米市の鳥  
「はくちょう」



宮城県の鳥  
「ガン」

由とのことで、伊豆沼にやって来る渡り鳥は、当園にも多く来園してくれることですし…特定の一種をキャラ化すると、白鳥さん達が嫉妬して来てくれなくなるのも嫌なので、ここはひとつ、園長のスマホの中で、癒やしキャラとして愉しんでいただくことと致しましょう！

事務長 甲斐龍也

## アロハ東北新生園！

朝、東北新生園の敷地に入り、車から降りてドアを閉めた瞬間、野鳥のさえずりが聞こえてきて、季節の匂いと澄んだ空気、そして少し眩しい日の光に包まれて、すがすがしい気持ちになることがあります。

今年の春、私は東京都内から転勤してきました。都会の喧騒の中から一転、緑豊かな自然に囲まれた東北新生園に来て、とても落ち着いた気持ちになりました。驚かされることは、毎朝、感じる匂いや空気が少しずつ異なっていることです。天候や季節は移り変わりますから、異なっているのは当然なのでしょうが、東京にいた時は、ちょっとした自然の変化に気が付かなかったのでしょうか。風薫る五月の東北新生園は、とてもやさしい空気に包まれて、私の好きなハワイの空気と似ているような気がします。

言葉で説明するのはとても難しいのですが、湿気が少なく心地よい風と空気が、不思議と心を癒してくれるのです。仕事を離れると、度々訪れるハワイに思いを馳せているのですが、観光やショッピングだけではなく、歴史や文化にも大変関心があります。東北新生園に赴くことになり、私にとって重要なハワイにまつわる歴史があることを思い出しましたので、ご紹介させていただきます。



ご存知の方もいらっしゃると思いますが、かつてハワイのハンセン病患者の方々は、1866年から1969年までモロカイ島にある世界最大級の断崖絶壁で隔てられたカラウパパ半島という場所にある施設に強制隔離されていました。施設とは名ばかりで、治療もろくに受けられず、衣食住も劣悪な環境だったそうです。

しかし、その悲劇的な状況を救ったのが、ベルギー出身のダミアン神父でした。神父としての職務と患者の方々の心身のケアを行いながら義援金を募り、生活環境を整備するために教会や住宅、水道等の整備を行いました。自らも罹患し、亡くなるまでの16年間その地で尽力しました。



そしてダミアン神父の後を継いだのが、19世紀の米国で病院経営の改善に取り組んだマザー・マリアヌヌ・コープです。親切で堅実な人柄で才能豊かなマリアヌヌ・コープは、モロカイ島に渡ってから80歳で亡くなるまで尊厳ある生活が送れるようケアと教育、そして環境整備に取り組みました。宗教家でありながら、医療人でもある彼らの偉業と思いは、時代を超えて私たちの胸を熱くさせてくれます。死後100年以上の月日が経ち、2009年、ダミアン神父はモロカイ島での献身的な活動が認められ、バチカンでカトリック最高位の「聖人」に列せられ、聖ダミアンとなりました。

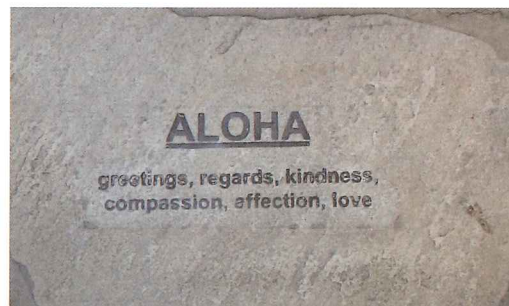
さらに2012年にはマザー・マリアヌヌ・コープが「聖人」に認められ聖マリアヌヌ・コープとなりました。二人の聖人以外にも、聖フランシスコ修道女会のシスターたちをはじめとして、数多くの無私の介護者がケアに生涯をささげています。偉大な彼らの足元にも及びませんが、私も医療人の一人として東北新生園の入所者の皆様が安心して過ごされるよう微力ながら、日々努めていきたいと思っています。私が生きる上で理想としているのがアロハの心です。ハワイの人々の挨拶の言葉として有名なALOHA(こんにちは・さようなら)ですが、ハワイの先人から継いだ思いの込められた言葉だそうです。

A : Akahai (やさしさと思いやり) L : Lokahi (調和と融合) O : 'Olu' Olu (喜びをもって柔軟に)

H : Ha' a Ha' a(謙虚・素直な心) A : Ahonui(忍耐と我慢) 常にこれらの思いを持ち続けて行動することは、なかなか難しいことですが、どれも大切にしたい思いです。

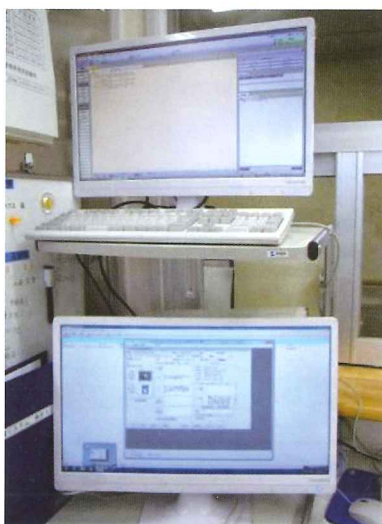
これから夏を迎え、その後秋冬と季節が移り変わっていきますが、自然豊かな東北新生園の風景と空気から、毎日何を感じられるのか、今からとても楽しみにしています。

それでは皆様ALOHA !!



薬剤科長 熊谷 学

## オーダーリングシステム更新について



当園では、平成27年4月より、オーダーリングシステムを更新しました。

オーダーリングシステムとは、医師が処方箋等を直接コンピューターに入力することにより、それ以降の業務の省力化・簡素化、転記ミスなど

による医療事故の削減、待ち時間の軽減による患者サービス向上のためのシステムです。

医師によりパソコン画面に入力された処方オーダーが薬剤科にあるコンピューターで、重複薬剤、薬の相互作用などの監査が自動的に行われ、更に薬剤師がパソコン画面にて処方上の不備や調剤上の問題点などを監査した後に、オンラインで連動する調剤業務支援システムにより処方薬、薬袋、お薬説明書の発行、同時に自動錠剤分包機による

一包化調剤が行われ調剤の効率化を図っています。

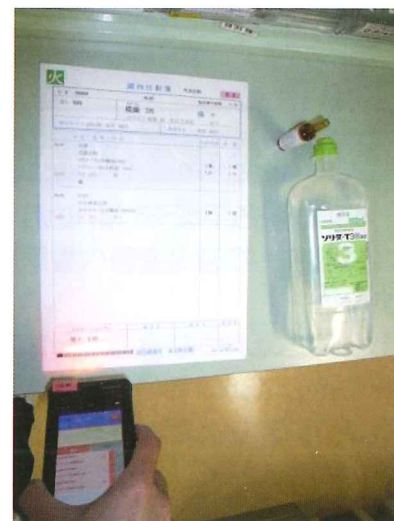
また、注射薬は、注射薬監査システムでバーコードを利用し、医薬品名や薬の量をコンピューターで確認後、払い出しを行っております。

さらに注射薬の配合変化チェックと、持参薬の管理ができるシステムを新たに導入しました。

このようにオーダーリング更新にて、薬の払い出し時間短縮と調剤過誤防止に努めています。

また、看護課の協力のもと、病棟、各センターとシステムによる情報の共有化も実現できました。

今後も、よりよい医療の提供に努め、さらに利便性の高いものにしていこうと考えております。



薬剤師 森田 睦子



## 県知事表彰を受賞して

「看護の日」知事表彰が、平成 26 年 5 月 14 日宮城県庁であり、11 人と 1 団体に表彰状が贈られ、その中の一人として私も表彰をうけてまいりました。

県庁の会議室に入った途端に、テレビで見るより重厚感あふれる雰囲気や他の表彰者の役職と堂々とした話し振りに圧倒されました。「何で私が・・・」と完全な場違い感と足の届かない立派な椅子の座り心地の悪さに落ち着きなくソワソワしていました。緊張しつつける中、現在の東北新生園は施設内外共に大変良く整備され、入所者の皆様方も行き届いた医療・看護・介護に身を委ね、穏やかな日々を過ごされている近況を報告してまいりました。

私と東北新生園の関わりは、18 歳で准看護学院に入学したことに始まります。

途中進学・転勤・他病院勤務で離れたこともありましたが、結婚・出産・子育てと、私の人生のピークのほとんどを勤務させて頂きました。看護師との両立は時間との戦いでもありましたが、自宅も近距離で東北新生園だから成し得たものと思っています。定年退職を迎えるにあたり、「やはり白衣を脱ぐのは、お世話になった東北新生園で終わりたい」という私の強い希望で、3 年前に 4 たび迎

え入れてもらいました。そして現在も週 3 日間だけ入所者の皆様の看護のお手伝いをさせて頂いております。

今回の表彰は私にとって正直、晴天の霹靂でしたが、これまでご指導頂いた方々や入所者の皆様方からの「ご褒美」と受け止めて、素直に感謝申し上げます。

今後はこれまで培った知識や経験を地域社会に、また入所者と自分自身の健康生活に役立てられるように「生涯現役」を目指し頑張っていきたいと思います。

ありがとうございました。



第 2 メープルケアセンター・治療棟看護師  
菅原 雅子

## 「看護の日」知事表彰されました

平成 27 年 5 月 12 日(火)宮城県庁において、当園元看護師長の佐藤麻梨子さんが「看護の日」知事表彰を受賞しました。佐藤麻梨子さんは、当園の看護師長として看護業務や部下育成に努め、入所者さんからも絶大な信頼を受けた方です。平成 26 年 3 月に定年退職され、現在は家業を手伝っておられます。今後もたまには遊びに来てくださいね。今回は本当におめでとうございました。

東北新生園看護課



## コ・メディカル学術集会に参加して

小雨が降る平成 25 年 10 月 4 日、朝 1 番の新幹線に乗り、多磨全生園へ看護研究の発表へと向いました。

今回このような全国から集まる大きな場所で発表するのは初めてのため、気持ちは落ち着かず緊張していましたが、上野駅から乗り換え沢山の人混みにもまれているうちに景色を楽しんでいました。

多磨全生園に着くと、大きな木々と金木犀の甘

い香りが迎えてくれました。その香りにひたる暇もないまま自分の発表する会場へと向かいました。

私の発表は午後のため、他の園から来た発表者の演題を聞く時間はありませんでしたが、心ここにあらずで時間を過ごしていました。そしていよいよ自分の順番がきました。人前に立つ事が苦手な私ですが、当園の先輩方がそばに居たせいか、『介護経験のない職員に対する育成の取り組み～疑似体験から指導案作成へ～』について発表する事ができ



ました。

その後の質問にも対応し、ステージから降りた瞬間、やっと緊張感から解放されました。「あーやっと終わった。」これが本心でした。それから他の演題を聞き、「この内容は当園の方が進んでいるな」と思うものと、反面「自分の看護にも取り入れたらいいな」と勉強させられたものもあり、沢山刺激を受けました。

夕方には意見交換会に参加し当園の魅力を総看護師長さんが語り、今年流行語になった『おもてなし』をゼスチャー付きでたっぷりアピールしてきました。他の園では松丘のねぶたや愛楽園の南国ならではの踊りは、ひときわ目立ち大人数で盛り上がり迫力あるものでした。

来年は是非他部署からの演題と出席者を増やし、当園の魅力をアピールしたいと思います。

翌日は多磨全生園の施設見学に参加し、雨のため傘をさしながらの見学でしたが、端から端まで見学してきました。当園と敷地面積はあまり変わりがないのですが、入居者さんの人数が当園の倍以上あり、一般寮にも沢山の方が入居されているのにびっくりしました。又売店や食堂もあり、大

きな森の中に綺麗な公園と小さな町がある。そんな印象でした。国立ハンセン病資料館にも足を伸ばし、想像以上に広く整った建物に沢山の資料が集まった所でした。資料館の奥へと進むごとに入所者さんから聞いた昔話を思い出し、道具や資料を見ながら、とても感慨深い気持ちになりましたが、とても勉強になり今後の自分の看護を考える事が出来ました。

今回貴重な体験をさせて頂き、良い刺激を沢山受ける事ができ感謝しています。有難うございました。



山鳩センター看護師 菅 原 薫

## 国立病院総合医学会に参加して

平成 25 年 11 月 8～9 日までの 2 日間、石川県金沢市を会場に、第 67 回国立病院総合医学会に参加しました。今年のテーマは～新たなる船出に向けて～でおこなわれ、このテーマは政権交代により、法人形態への歩みは速度を遅めた感じがあり、だからこそ新法人化に向けて願いをひとつにして、機構 143 の病院・国立療養所 13 ヶ所のネットワークを活かし国立医療の新たなる

べき姿を議論する機会を目的にこの学会が開催されました。

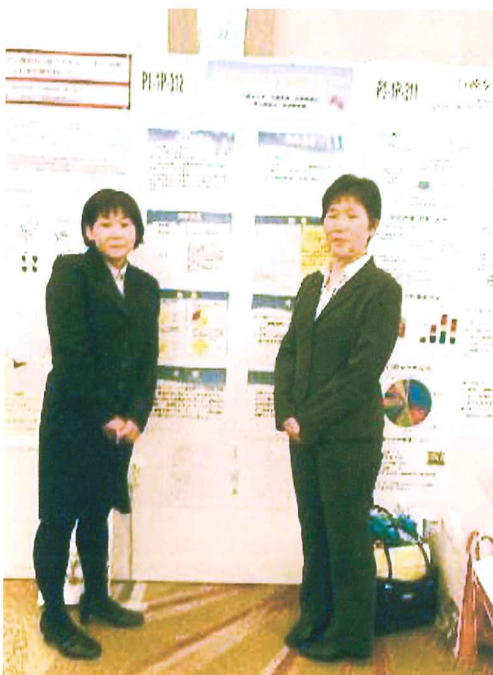
初めて総合医学会に参加させていただき、

色々なことを勉強することが出来ました。今回「口腔乾燥がある患者への取り組み」で発表しました。口腔ケアに関しての発表は 7 題あり、皆さんが関心を寄せていることがわかります。

左の写真は、発表直前の写真で、すごく緊張していることがわかります。

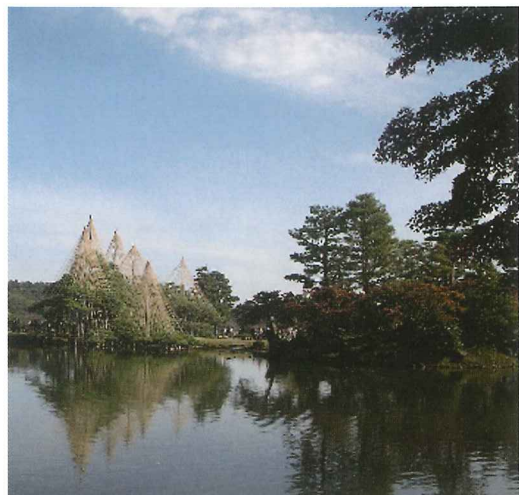
感染対策に関しての発表も多数ありました。これから発生が多くなるインフルエンザについて、長島愛生園でのアウトブレイクについての発表もありました。私達医療者は、いつもうがい・手洗いを重視し、感染拡大を防ぐことが大切になります。

2 日目は、飛行機の出発時間まで少し時間がありましたので、金沢市内を観光しました。2015 年 3 月に北陸新幹線が





開業予定で、現在新幹線の工事を行っています。開業すると、宮城から4時間半で行けるようになります。是非皆さんも一度は、古都金沢を訪れてはいかがでしょうか。？



左の写真は、兼六園です。約8000本の木々があり四季折々の風景を見せてくれます。紅葉には少し早かったことが残念でしたが、雪吊りの風景をみることができました。左の写真の銀世界もすてきだと思います。一度見てみたいと思います。地元の方は、春の桜がみごとと話していました。

今回学会に参加させていただき、貴重な体験をすることが出来ました。今回学んだことを今後の看護の中で活かしていきたいと思います。

第1病棟看護師 星 よしえ



## 入所者全員が参加できる行事への取り組み

第1メープルケアセンターにおいて、行事を行う場合は入所者全体の人数を考えて第2メープルケアセンターの集会室を借用して行っています。しかし、せっかく広い会場を準備しても、「会場まで移動するのが面倒」「うるさい所に行きたくない」などの理由から、なかなか参加率を上げることが出来ずにいました。

そこで、これまで行ってきた「お楽しみ会」のように会場に移動し、にぎやかに過ごす行事ではなく、入所者全員がそれぞれ何らかのかたちで参加できる行事がないか、スタッフ全体で考えました。

第1メープルケアセンター全体を展示場所とした「秋の文化祭」を開催することで、入所者が全員参加できるのではないかと考え開催の準備に入りました。

趣味で書いた俳句や短歌、写真、絵画、ジグソーパズル、編み物、手芸など普段押入れの奥で眠っている作品がないかと、入所者の皆様に声を掛けると作品が次々と集まり始めました。「このような行事をして欲しかった」という声も聞かれました。

また、スタッフの方々も野菜や米のコーナー、ちぎり絵、編み物、昔懐かしいわらじなどを持ち寄ってくれたため、入所者、職員が一緒に楽しみながら展示の準備をすることが出来ました。集まった作品はプロ顔負けのものばかりで、一階から三階まで各フロアの廊下、デイルーム、食堂と展示場所はまるで美術館のようになりました。

また、一週間の文化祭の期間中、「秋祭り」と称して、獅子舞とおみこしを企画しました。

笛と太鼓の音で獅子が踊り、みこしが練り歩くと、みなさんの目は釘付けになり、自然と笑顔があふれました。どうしても居室から出てこれない方には、獅子舞やみこしが訪室し、皆さんに喜んで頂くことができました。「昔に戻ったみたいだ。」との声も聞こえ、大変うれしく思いました。

更に、一週間の文化祭の期間中、各センターの入所者の方々にも来棟、見学していただくことができました。なかには「お久しぶり、元気だった?」「あらいいごだあ。」などと、入所者同士やスタッフとの会話も弾み、各センターの交流もできたと思いました。

今回、「秋の文化祭」を行い良かったことは、作品を出した人、見に来た人、居室にいた人との交流があり、自然な笑顔を引き出すきっかけづくりができたと考えます。

これまで考えてきた第1メープルケアセンター全員参加のレクリエーションが開催出来たことをうれしく思います。このことを今後の励みにして、また新たな事に挑戦していきたいと思います。



第1メープルケアセンター介護長 川 田 良 子



## 睦が池とカイツブリ

新生園の真ん中には睦が池があり、冬には渡り鳥が訪れ、夏には蓮の花が咲きます。

ここ数年は蓮よりもヒシが湖面を占拠していたのですが、昨年は近年では珍しく蓮の花が多く咲きました。そして今年も既に多くの葉が浮いてきました。



(昨年夏に撮影した睦が池の蓮)



5月、その中に枯れ草を持ったような塊があり、卵が数個乗っていました。

鳥の巣であることは間違いないと思われましたが、親鳥らしき姿は見られず、その巣も悲しいことに数日後に水没してしまいました。

しかし5月20日頃、今度は以前よりもしっかりとした新たな巣が作られていたのです。そして近くには小さな水鳥が潜っては草を啜えてきて巣に盛っていたのです。

しばらくすると巣の中に卵が産み付けられており、つがいでも巣を守っているのです。

鳥の特徴や巣の形状をもとに調べてみると、この鳥の名前は「カイツブリ」でした。遠目では黒にし

か見えなかった体も望遠で写真に写すとこのような姿をしています。

その愛らしい姿を見ようと近づくと、警戒して巣から離れ、そして卵の上に枯れ葉等を被せて見つからないようにするのです。卵がふ化するまで25日ほどかかるそうです。

6月11日に原稿を書いているのですが、この号が発行されている頃には小さな雛が親鳥と泳いでいる姿が見られていることを願いつつ書いています。

医療社会事業専門員 瀬川 将 広



## グラウンド附帯施設を整備しました

当園のグラウンドは、野球グラウンドとして、ゲートボール大会の会場として、サッカー・フットサルのグラウンドとして皆さまにご利用いただいておりますが、少しでも快適にご利用いただけるように、イス（選手等休憩用）を更新、水場（流し台）の新設を実施いたしました。

さらに、今年度中には排水設備、土壌の改良、バックネットの更新を予定しております。

また、野球用具につきましても、貸し出し（2チーム分）できるよう用意しております。

グラウンド（野球用具も含めて）は、無料で貸し出ししておりますので、お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先 国立療養所東北新生園庶務課庶務班庶務係





## 職員募集

当園では、次のとおり職員を募集しております。採用を希望する方はお気軽にお問い合わせください。

1. 採用職種
  - ①看護師 ②看護助手
- 1) 身分
  - ①定員職員 ②期間業務職員
- 2) 採用予定期間及び採用人員
  - ①採用の日～ 2名
  - ②採用の日～ H28.3.31 7名  
(年度更新、希望により2回まで更新できます。)
- 3) 応募資格
  - ①看護師免許取得者 ②介護経験のある方(介護資格ある方歓迎します。)
- 4) 勤務内容
  - ①看護業務(三交替制、早出・遅出有り)②介護業務(日勤、早出・遅出有り)
  - ①②1日あたり 7時間45分 週38時間45分勤務
- 5) 加入保険等
  - ①共済保険、共済年金 ②協会けんぽ、厚生年金 に加入  
※共済年金は、H27.10厚生年金に統合されます。  
※②の職員は、1年経過後から共済保険に加入となります。

- 6) 応募方法 市販の履歴書に写真貼付、看護師は免許証(写)を郵送又は持参

豊かな自然に恵まれ、四季折々の行事、数々の訪問行事を行っておりますので、入所者の皆さんと関わり合いながら楽しみながら当園で働いてみませんか。

看護・介護の研修体制も充実しておりますので、初めての方も心配なく安心して働くことができます。

興味のある方は、当園のホームページに、看護課の方針、看護体制、研修計画、処遇等を掲載しておりますので是非ご覧いただき、お気軽にお問い合わせください。

- 7) お問い合わせ、応募先

〒989-4692 宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢1

国立療養所東北新生園

TEL 0228-38-2121 FAX 0228-38-3765

E-mail 2302sy01@sinseien.nhds.go.jp



## 入所者数の推移

| 年度 | 入 所 者 数 |   |   | 退 所 者 数 |    |    |     |    | 平均入所者数 |
|----|---------|---|---|---------|----|----|-----|----|--------|
|    | 再       | 新 | 計 | 軽快      | 死亡 | 転園 | その他 | 計  |        |
| 17 |         |   | 0 |         | 9  |    |     | 9  | 163.9  |
| 18 |         |   | 0 |         | 7  |    |     | 7  | 156.2  |
| 19 |         |   | 0 |         | 7  |    |     | 7  | 148.4  |
| 20 |         |   | 0 |         | 10 |    |     | 10 | 139.9  |
| 21 |         |   | 0 |         | 2  |    |     | 2  | 135.2  |
| 22 |         |   | 0 |         | 10 |    |     | 10 | 129.4  |
| 23 |         |   | 0 |         | 14 |    |     | 14 | 118.0  |
| 24 |         |   | 0 |         | 11 |    |     | 11 | 105.1  |
| 25 |         |   | 0 |         | 10 |    |     | 10 | 95.3   |
| 26 |         |   | 0 |         | 4  |    |     | 4  | 86.7   |



発行元 国立療養所東北新生園  
National Sanatorium Tohokushinseien

発行責任者 国立療養所東北新生園  
広報誌編集委員会

〒989-4692  
宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢1 番地  
TEL 0228-38-2121 FAX 0228-38-3765  
URL <http://www.nhds.go.jp/sinseien/>  
E-mail [admin@sinseien.nhds.go.jp](mailto:admin@sinseien.nhds.go.jp)